

ピッキングも 人からロボットへ。



保管スペース
80%
削減

平均出庫時間
75%
短縮

歩行レス
100%
実現

※当社和歌山工場実績比

超高密度保管と高速ピッキング 1台2役をこなす「AutoStore」の実力

拡大するEC需要に対応するため、取扱品目の増加と作業効率の向上が求められている物流倉庫。しかし保管スペースや人材の確保はますます難しくなっています。国内外のお客様に最適な物流ソリューションを提供するトヨタカネツから、入庫から保管、出庫までをひとつのシステムで実現する超高密度保管ピッキングシステム「AutoStore」を提案します。入庫と出庫は、コンテナをロボットが自動で搬送。手元に搬送されたコンテナから作業者がピッキングすることで「歩行レス」を実現。

作業の定数化でソーシャルディスタンスも確保できます。保管は、コンテナを隙間なく積み上げ収納することで、天井までの空間を有効に活用した超高密度収納を実現、スペースや建屋形状に合わせて柔軟にレイアウトが組めます。また既存設備の運用を止めることなく拡張することも可能です。「AutoStore」を当社和歌山工場へ導入した結果、驚異的な生産性向上および省スペースを実現しました。このように、物流倉庫だけでなく工場の部品保管とピッキングにも活用いただけます。

トヨタカネツでは様々な業態のお客様に最適化した「AutoStore」導入を提案します。

隙間なく ロボットが収納 **超高密度保管**



コンテナを隙間なく積み上げて収納することで、従来活用できていなかった天井までの空間を保管スペースとして活用。平置き棚の約3~4倍の超高密度保管を実現可能。

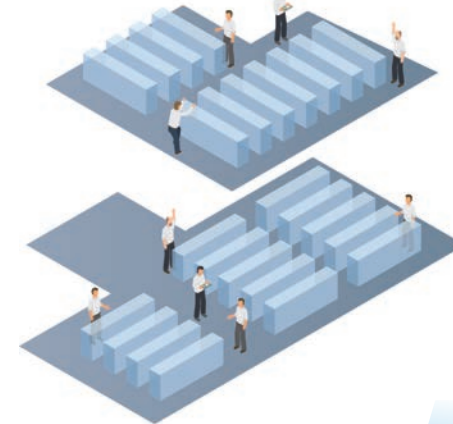
作業者の前に 自動供給 **歩行レスピッキング**



商品が作業者の手元に搬送される「歩行レスピッキング」を実現。作業の定数化でソーシャルディスタンスも確保できます。また、入出庫を繰り返すことで高頻度品は上段に集約され入出庫時間が自然と短縮。

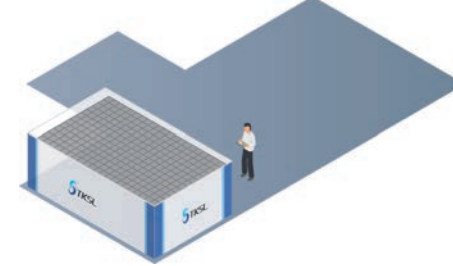
当社和歌山工場で「AutoStore」を導入 驚異的な効果を実証。

Before



工場内の2か所に保管場所が分散。ピッキング作業は、倉庫内の棚から棚へ歩き回って必要な部品を探し集めていました。

After



保管場所は、「AutoStore」1か所に集約。作業者は手元に搬送されて順次供給される部品をピッキング。多くの時間を費やしていた部品の探索と歩行時間がなくなり、劇的に生産性が向上。

2022年6月22日(水)~24日(金) 東京ビッグサイトにて開催される「工場設備・備品展」にAutoStore実機展示致します。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

Empowered by

トヨタカネツ
TKSL

Dematic | Represented by Toyo Kanetsu in Japan

トヨタカネツ株式会社 ソリューション事業本部
東京都江東区南砂二丁目11番1号
TEL:03-5857-3132 <https://www.tksl.co.jp>

「AutoStore」紹介動画→

